
神様への最後の願い事

a-m

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神様への最後の願い事

【Nコード】

N0158Z

【作者名】

a - m

【あらすじ】

ーーーーねえ、神様。彼を一人にしないでください。死に行く運命の私から最後のお願いです。ーーーー精神異常者？な彼と余命2ヶ月の花嫁さんの純愛。ある意味ハッピーエンド。完璧なハッピーエンドがお好きな方は、このまま通り過ぎてください。

（前書き）

予告通りスプーキーなシリアスチック短編。

100点満点なハッピーエンドがお好きな方はお逃げ下さい

私の愛する人はスプーキー・・・変人です。

世間一般でいう精神異常者かもしれません。

そんな彼を愛している私は、余命2ヶ月の花嫁さんです。

彼と出会って、彼の愛に絆されて、一般常識を全て捨てて彼と交際を始めてから3年。

同い年の私と彼は、私が遅れて25歳になった日にめでたく結婚しました。

そして、その半年後。

私は血を吐いて倒れ意識を失いました。

そして、緊急病院に搬送された私にお医者様は仰ったのです。

その時から私は愛する彼の「余命2ヶ月の花嫁」となりました。

ねえ、神様。

お願いですから、彼を一人にしないでください。

私がいなくなれば、きっと彼はシリアルキラーになるでしょう。

頭が良すぎるぐらい良い彼の事です。

物的証拠も状況証拠も何もかも残さず完璧に何人もの女の子を殺し続けることでしょう。

だって今の言葉聞きました？

「ねえ、さゆ？絶対に死んだら駄目だよ？僕に殺人者になってほしくないのしょう？

さゆが死んだら僕は何人もの女を殺してしまうよ。

だっておかしいでしょう？さゆがこの世から消えても、さゆと同じ性を持ったほかの女は生き続けるんだよ？

ふふ・・・変だよねえ・・・許されないよねえ・・・」

ね？神様・・・私の言った通りでしょう？

「旬ちゃん？人殺しは駄目よ？そんな事したら旬ちゃん地獄に落ちちゃうよ？」

ああ、可愛い。

地獄に落ちちゃうだって。

25歳には見えない童顔な彼女の口から発せられた言葉に僕は興奮してしまふ。

もし彼女が病気じゃなければ、今すぐ彼女が壊れるほど愛していたのに。

きっと彼女は病院では駄目だと言っただろうけれど、ここは個室だよ？

誰も見ない、誰も彼女の声は聞こえない。

まあ、もし彼女のそんな姿を見た者がいれば、僕が処分するけどね。

ねえ、さゆ？

さゆがこの世から去ったあと、本当に他の女を殺すと思う？

ふふ・・・まだ僕の愛の深さがわかってないんだね。

キミがいない世界なんて僕には興味がないんだよ

僕が生きていくに値しない世界だ

ああ、さゆ

キミがもし死ぬのなら、僕の手で殺してあげよう

そしてその血肉は全て僕が食そう

そうすれば、地獄に落ちる僕と共にさゆも地獄に落ちるよね

例え死んでも僕から離れる事は許さないよ

――――

優しく微笑みながら私を見つめる彼の思考回路は私には完璧には把握できません。

いくら頑張って理解しようとも、彼は一步も二歩も先へ先へと思考を進めてしまうから・・・。

ねえ、神様。

私は酷い人間です。

だって、こんなに優しい笑みを浮かべる彼を見ている、私の願いは変わらないのですから。

神様・・・死に行く運命の人間から最後のお願いです。

彼を道ずれにしてください。

一人では死ねません。

だって、私の魂は彼のものだから・・・

そして、彼の魂は私のものだから・・・

私がいなくなった世界に私の魂が残るなんて、許せないんです。

ねえ、神様

お願いだから・・・私が死ぬ時、彼も殺して下さい。

例えば私の願いを叶えて下さっても、天国に行って直接お礼を言う事は出来ないでしょう。

きっと私は地獄へ落ちるから・・・

そして、私のものである彼の魂も私と共に地獄へ落ちるでしょう。

ねえ、神様

私と彼、二人で地獄からお礼を言います。

死してなお、二人の魂が共にあることを感謝して・・・。

（後書き）

似た者同士な二人をお送りしました

2作連続現代小説だったので、次は異世界の恋愛話にします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0158z/>

神様への最後の願い事

2011年11月30日21時47分発行